



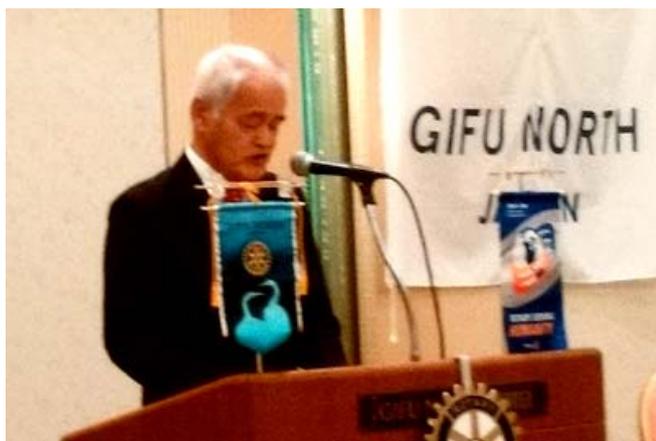
岐阜北週報

7月

□ 題 字	安藤 武司	□ 会 長	安藤 武司	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	小泉 宣昭	2016-2017
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	波多野光裕	No.1637
		会報委員長	臼井 毅子	16.7.20発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1636 回 例会 7/13 (水) クラブアッセンブリー (1) 事業計画 アシスタントガバナー訪問 担当：会長・幹事	第 1637 回 例会 7/16 (土) クラブアッセンブリー (2) ガバナー公式訪問 IMA 分区合同 (20日繰り上げ) 担当：会長・幹事	第 1638 回 例会 7/27 (水) クラブフォーラム (1) 100万\$ 担当：出席委員会

会長挨拶



＜ロータリーバッチの由来と意味について＞

本日は、Aグループ・ガバナー補佐の田邊雅範様（岐阜中RC）をお迎えしております。前任の当クラブの山口前ガバナー補佐の後任としてご活躍頂いております。後程、ご挨拶頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

今回より、会長挨拶は「ロータリーに関する挨拶」をなさいます。とのご指示をいただきました。今回は、ロータリアンとして胸に付けています、ロータリーバッチについてお話をさせていただきます。（歴代バッチの写真をテーブルに配布いたしました）ご参照ください。



会長挨拶 続き

1905年USAシカゴにて誕生したのが始まりで、最初のクラブが例会場所を輪番（ローテーション）で提供したことから、ロータリーの名がつけました。

＜現在は＞

6本のスポークと24の歯車が、シンボルマーク（エンブレム）です。

1905年

最初のロータリークラブのロゴマークは、車輪でした。創設当時のアメリカでは、交通手段として馬車が使われていた時代です。持ち回りの例会を開くロータリーにぴったりのシンボルとして、クラブのロゴとして採用されました。

1910年

シカゴRCの会員で彫刻家のモンタギュー・M・ベア氏のデザインで、リボンをつけ、中にROTARY CLUBの文字がはいりました。

1912年

現在の歯車のマークになりました。当初は、中心のホールに切り欠きはありませんでした。

1922年

このロゴマークは、ロータリアンだけが使う、統一的な徽章を正式に制定することが決まりました。

1923年

歯車の形をした徽章が定められました。

1924年

現在のマークが使われ始めます。6本のスポークはシカゴ川とその支流を意味するYの字を2つ重ねたものと言われてはいますが、他にも色々

会長挨拶 続き

な説があります。

襖穴 (Keyway) が無いと歯車は車軸からの力を伝えられなく改造され、回転し続けているのである。

<<バッチの着用には、この様な大きな意味を持っています>>

1993-1994年会長ロバートRバース氏のことばの中に、次の様な意味があります。

1. あなたは、私を信用して頂いて結構です。私は信用に値する者です。
2. 私の用意は出来ています。何時でも、あなたの為に奉仕出来ます。
3. 私は受けるもの以上のものを、あなたに与えます。私は人の為に奉仕します。

<ロータリークラブのロゴマーク>

・現在の新しいロゴについて

従来の歯車には、ゴールドとロイヤルブルーの2色が使われていました。新しく、ゴールドと呼ばれる黄色1色だけになりました。

又、「Rotary」の文字は、ロータリーロイヤルブルーと呼ばれる色で入れることになりました。従来のように歯車だけを単独で使うことはできません。この公式ロゴと合わせて「誇りのシンボル」と言われる歯車を使うことができます。

出席報告

会員数：31名

出席数：26/31名

出席率：83.87%

欠席者：5名（出席免除3名 93.55%）

来訪者：田邊 雅範様 アシスタントガバナー

ニコニコBOX（敬称略）

田邊 雅範：ガバナー補佐を拝命しました。1年間よろしく願いいたします。

安藤 武司：田邊ガバナー補佐ようこそお越しくございました。

松野 秀計：先日は、父の葬儀にご参列頂きありがとうございました。

事業計画（敬称略）

【クラブ奉仕委員会 小泉会員】

各委員会が円滑に運営できるように支援していきたいです。

事業計画（敬称略）続き

【出席委員会 片桐会員】

- ・ホームクラブ出席率の向上。
- ・名キャップによる欠席の補てんを働きかける。
- ・委員会など各種会合の出席ができるよう働きかける。

【会報・広報委員会 臼井会員】

- ・会報を作成し、ホームページに掲載することで、例会記録を残す。
- ・クラブの広報活動を広く行い、会員増強を促進する。

【プログラム委員会 永瀬会員】

- ・会長の方針に則り、クラブ活動の立案、運営を行う。
- ・次年度のクラブプログラムに反映できるようにする。

【会員増強委員会 原尾会員】

- ・入会パンフレットの作成。
- ・会員増強のため、女性会員の増加や退会防止に努める。

【ロータリー情報委員会 岡田会員】

- ・入会者へのロータリーの情報を提供し、オリエンテーションを行う。
- ・IGMの開催などから、会員相互の理解と友情に努める。

【職業奉仕委員会 高橋会員】

今年度は、食の安全に関する職場例会をメインに行う。

【社会奉仕委員会 林会員】

児童養護施設などへの奉仕活動により、社会奉仕の活動を行う。

【青少年奉仕委員会 谷田会員】

岐阜北ロータリーカップに岡山シーガルズを招待し、指導もしていただくようにしている。

【インターアクト委員会 辻会員】

城北高校との親睦会などを通じ、地域社会への奉仕活動。国際交流活動を促進する。

【国際奉仕委員会 安藤会員】

次年度の資金作りを行っていきたい。

【R財団委員会 岡田会員】

財団への理解と協力の推進。

【米山奨学委員会 山口会員】

米山奨学会の趣旨・目的、意義などの理解を深め協力を要請する。

【SAA委員会 松野会員】

例会などの品位や秩序を維持し、会員やクラブ訪問の方に対し、魅力ある例会となるよう努める。

アシスタントガバナー訪問

R I 2 6 3 0 地区岐阜 A グループガバナー補佐
田邊 雅範様



今年度のジョン・ジャーム R I 会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。ロータリアンが集う一番の理由は「奉仕」のためであり、ロータリーは初期から「人類への奉仕」は礎であり、主な存在理由となっている。ポリオ撲滅を成し遂げ、クラブ・地区・R I のレベルにおけるリーダーシップを継続し、ロータリーを繁栄させることが、世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となる、としています。

この R I のテーマに対して 2 6 3 0 地区の 劔田廣喜 D G は、奉仕の第 2 世紀へ向かっての R I と R 財団の決意、方向性を示したものと思われる。世界でよいことをする事は、人類に奉仕することであり、そのために戦略計画を実行することである、という方向性であります、とされています。

2 6 3 0 地区の目標は、

- ・ 地区内クラブの少なくとも 5 1 % が会長賞を受賞する。
- ・ 地区財団活動資金の 2 0 % をポリオプラスに寄贈する。
- ・ 年次基金への寄付を前年度よりも 5 % 増やす。
- ・ 地区全体の会員数を 3 % 増やす。

会長賞は、

会員の増強と維持・財団への寄付・オンラインツールの利用・人道奉仕・新世代・公共イメージの 5 項目があります。

劔田 D G の信条は「最も出席するもの 最も報われる」です。ロータリー活動は、例会出席から始まり、親睦を深め奉仕の心を高め、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の実践へとつながっていきます。大切なのは先ず例会出席です。

また劔田 D G はロータリーの原理原則は「決議 2 3 - 3 4 号」にあるとお考えで、これによりロータリーとは「思いやりの心」「助け合い

アシスタントガバナー訪問 続き

の心」であるとお考えです。『奉仕の理念＝「思いやりの心」「助け合いの心」』は誰にでもあるものの、つつい本能的かつ利己的になっていきやすい心を抑えて潤していくのがロータリーの考え方です。

「思いやりの心」「助け合いの心」でクラブを潤していくのが『クラブ奉仕』、仕事に従事するのが『職業奉仕』、地域社会・国際社会を潤していくのが『社会奉仕・国際奉仕』、青少年に植え付けて行くことが『青少年奉仕』とお考えです。

「奉仕の理念」「ロータリーの精神」「奉仕の理想」「超我の奉仕」「利他の心」は全て同義語で「他人への思いやりの心」であり、そんな「思いやりの心」「助け合いの心」を作り、ロータリアンとしての人格を形成する唯一の場所が、例会会場だと信じている。ロータリー活動は、例会出席から始まり、親睦を深め奉仕の心を高め、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の実践へとつながっていくので、先ず例会出席をしてください。

「最も出席するもの 最も報いられる」これが信条です、とのこと。

本年 4 月の規定審議会での決定に対する劔田 D G のお考えは、以前に貴クラブへのご挨拶の際にお話ししました。

また貴クラブの会長・幹事宛に 5 月に劔田 D G からの文書も配信されており、ご理解は賜わっているものと思います。その中で劔田 D G が書かれているように「各クラブが今後のビジョンをしっかりと持つこと、ロータリー運動の本質を失わないことが大前提であると考えています。将来どのようなクラブを目指すのか、どんなクラブになりたいのか、何でもって、人々に我がロータリークラブを認識してもらうのか、という原点をクラブがしっかりと考え、皆が共有する必要がございます。そうでなければ、クラブの柔軟性や革新性を目指したこれらの規約変更は、逆の効果を生むかもしれないと、私は危惧致しております。」という言葉通り、今年一年間をかけて皆さんで議論して、クラブの未来ビジョンをお考え下さい。

もう一つお願いがあります。R 財団についてのごお願いです。R 財団への寄付について、皆様のご協力をお願いすると共に、R 財団本部 1 0 0 周年を迎えるにあたり、寄付履歴が現在 8 千ドル以上の会員は何とか 1 万ドルにしてほしいとのことです。

この 1 0 0 周年を記念する行事も各クラブで行ってほしい、という要請も来ております。でき

アシスタントガバナー訪問 続き

ればポリオを取り上げてほしいとのことです。

またクラブで4回のR財団に関わる例会の実施と、MYROTARYへの登録と活用も併せてお願いします。

7月16日に岐阜AグループのIM、合同例会を開催します。多数の方のご参加をお待ちしております。

最後に、どうか例会を大切に、出席して、活発にして、貴ロータリークラブの活性化を図ってください。

次回例会のご案内

第1638回 例会 7月27日(水)
クラブフォーラム(1)
100万\$

担当者：出席委員会

会報・広報 7月担当 臼井 毅子